

～京都橋大学における地域連携の実績～

2005年	4月	大学名を京都橋大学に改称し、男女共学化。看護学部を開設。
2005年	4月～	文化政策学部1回ゼミ生、『実験版！山科駅周辺商店街マップ』を制作。
2005年	4月～	文化政策学部2回ゼミ生、やましなタウン誌『やましな游～ing vol.1』を製作。
2005年	4月	企業や自治体との連携講座「キャリアデザイン入門」「キャリア開発講座」を開講する。
2005年	5月	文化政策研究センター公開セミナー「関西女性アーティストファイル5」開催。※京都を中心に希望のアーティストを紹介(全5回最終回)
2005年	6月	文化政策学部・小暮宣雄教授が、「第1回こどもの文化フォーラム」の実行委員を務める。(2013年まで毎年継続中)
2005年	6月	オムロン(株)・立石信雄氏を講師に招き、現代マネジメント学科特別講義「21世紀に求められる企業の役割—企業の社会的責任とは」を開催。
2005年	7月	文化政策学部「臨ま研」学生、「第31回陶器まつり」に参加。
2005年	8月	平成17年度「現代GP」の地域活性化部門で、「『臨地まちづくり』による地域活性化の取組」が採択される。【現代GP】
2005年	8月	文化政策プロフェッショナルセミナー「文化によるまちづくりの継承と発展」を湘南国際村センターで開催。
2005年	10月	文化政策学部学生、「京都・山科 清水焼団地第6回楽陶祭」実行委員会へ参画。
2005年	10月	文化政策学部学生のヒアリング調査による山科駅周辺の地図づくりがはじまる。【現代GP】
2005年	10月	京都市男女共同参画講座・京都市ウイングスセミナー「起業入門講座」を開催。(京都市受託事業)
2005年	10月	大学祭で、看護学部教員・学生有志による「たちばな健康相談・健康教室」を開催。
2005年	10月	文化政策研究センター主催「第5回個性が輝くひと・まち・文化」コンテスト開催。(～2006年まで毎年)
2005年	11月	第1回現代GPシンポジウム「地域振興と大学教育 産学連携によるまちの活性化」開催。清水焼団地理事長、パネリストとして参加。【現代GP】
2005年	11月	文化政策学部学生、地域団体が共同で開催するイベント「ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科」へ実施スタッフとして参画。【現代GP】
2005年	11月	文化政策学部学生、「三条街道わくわくフェスティバル2005」への参画。
2005年	12月	文化政策学部主催、知の交流の場「第5回インターゼミナール ものづくりの匠み、まちづくりの愉しみ」開催。【現代GP】
2005年	12月	文化政策研究センターの「『文化開発の可能性』—コラボレートする山科からの提案—」が「法政大学地域政策研究賞」の奨励賞受賞。
2006年	3月	文化政策学部ゼミ生による山科タウン誌『やましな游～ing 春うらら号』(編集・発行京都橋大学)が完成し、反響を呼ぶ。【現代GP】
2006年	3月	山科駅周辺地図が完成し、KBS京都で、マップとタウン誌の魅力が報道される。【現代GP】